

【施工者の技術協力によるCIM活用に向けて】 ECI方式でのCIM活用

技術提案・交渉方式の運用ガイドライン

○ 品確法[※]第18条において、工事の仕様の確定が困難である場合に適用できる「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」を規定。

※ 公共工事の品質確保の促進に関する法律

○ 国土交通省直轄工事において本方式を適用する際、参考となる手続等を定めたガイドラインを策定。

<主なポイント>

1. 適用工事の考え方を明記

① 発注者が最適な仕様を設定できない工事

例：国家的な重要プロジェクト開催までに確実な完成が求められる大規模なものである一方、交通に多大な影響を及ぼすため、工事期間中の通行止めが許されないことから、高度な工法等の活用が必要な高架橋架け替え工事

② 仕様の前提となる条件の確定が困難な工事

例：構造的に特殊な橋梁における大規模で複雑な損傷の修繕工事

2. 契約タイプとして3つの類型から選定

1) 設計・施工一括タイプ

⇒ 優先交渉権者と価格等の交渉を行い、設計及び施工の契約を締結

2) 技術協力・施工タイプ

⇒ 優先交渉権者と技術協力業務を締結。別契約の設計に提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、施工の契約を締結

3) 設計交渉・施工タイプ

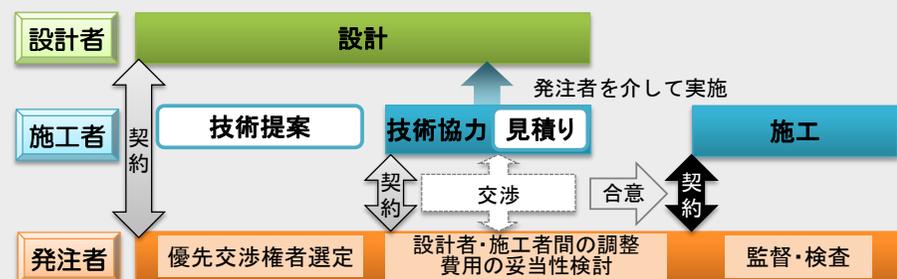
⇒ 優先交渉権者と設計業務を締結。設計の過程で価格等の交渉を行い施工の契約を締結

各契約タイプにおける手続の流れ

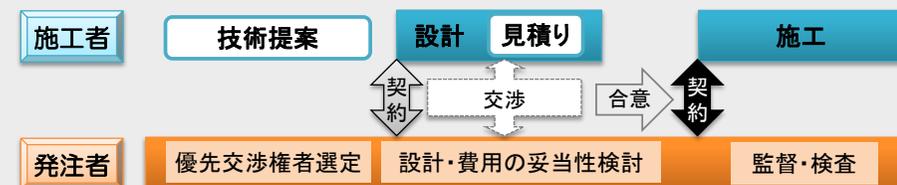
1) 設計・施工一括タイプ



2) 技術協力・施工タイプ



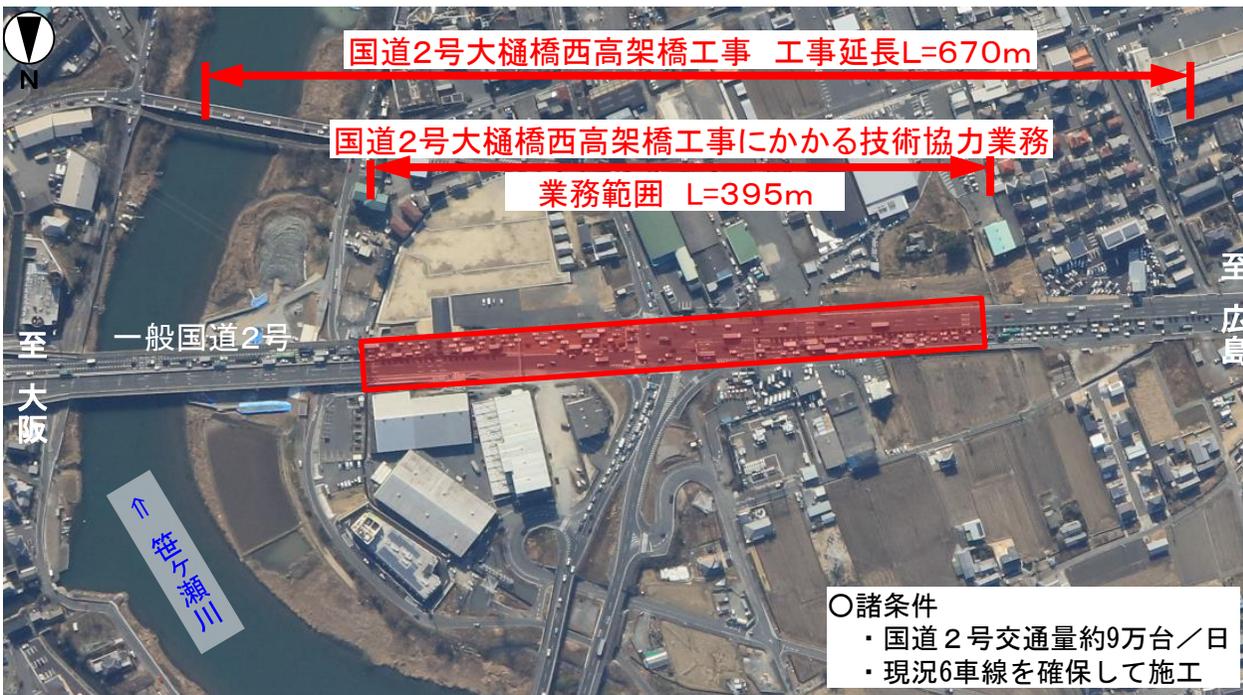
3) 設計交渉・施工タイプ



技術提案・交渉方式の適用事例

技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ(ECI方式))

工事名 : 国道2号大樋橋西高架橋工事
 工事場所 : 岡山県岡山市南区古新田～大福地内
 工事内容 : 技術協力 設計に対する技術協力(技術提案、技術情報の提供、施工計画の作成等) 1式
 施工 工事延長 L=670m、橋梁下部工 1式、鋼橋上部工 1式、道路改良 1式、仮設工 1式



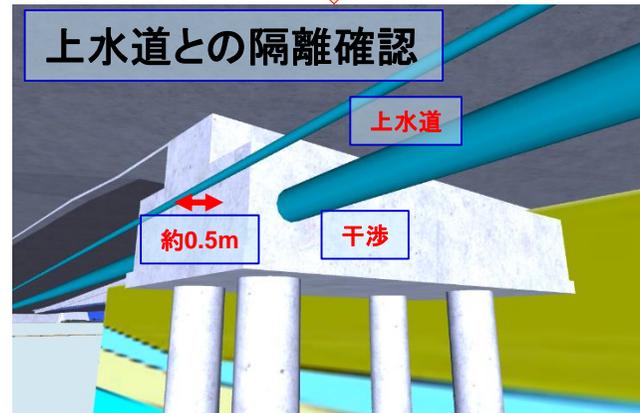
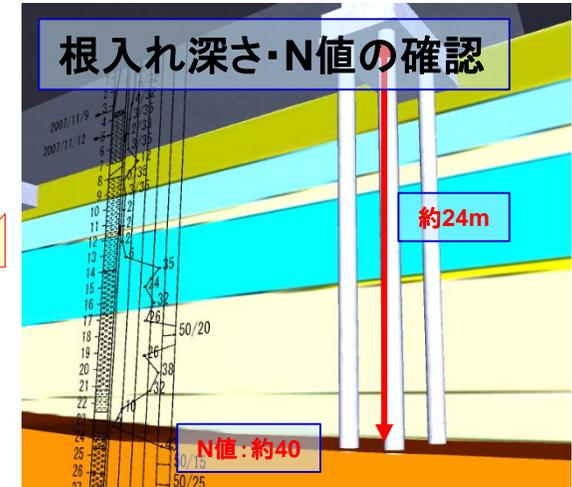
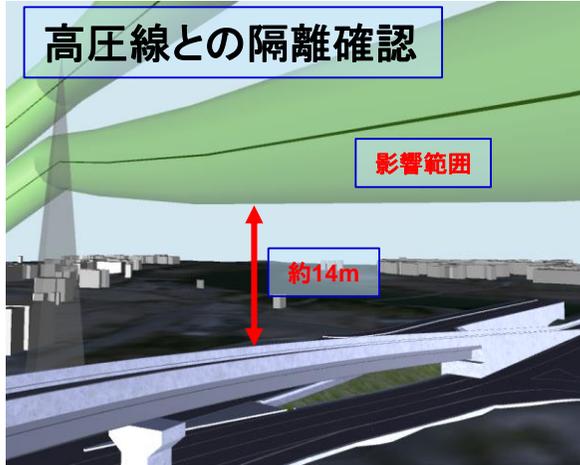
求める技術提案について

- 技術協力業務の実施に関する提案
- 現道交通への影響の最小化に有効な工法等の提案能力
- 施工時の安全・安心の確保に有効な対策の提案能力
- 施工期間の短縮に有効な工法等の提案能力
- CIMを活用した施工計画に関する提案

※H29.10.26 : 詳細設計業務締結
 H30. 2.23 : 技術協力業務締結

既存構造物等との離隔確認の例

 : 設計者  : 発注者



 高圧線の影響があるため、
施工計画立案時に注意が
必要です

 杭長〇〇mにすれば、十
分な支持を得る事が可能
です

 施工者と共に施工計画・
機種選定に注意します

 上水道と干渉しているため、
形状の見直しが必要です

 承知しました

 移設を含め、検討します。